11(3)　中標津町

［所在地］
〒086−1197
標津郡中標津町丸山2丁目22番地
TEL 0153−73−3111
FAX 0153−73−5333
ホームページアドレス
https://www.nakashibetsu.jp

●なかしべつ夏祭り

●開陽台から望む地平線

［沿革］
昭和21年に標津村から分村し中標津村を設置。同25年１月に町制を施行し、同30年４月に別海町の一部を編入。

［基本計画］
●第７期中標津町総合計画 R3～R12
●第２期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略　～人口減少に対応した重点施策～ R4.3～R8.5

［概要・特色］
中標津町は、基幹産業である酪農業をはじめ、根室管内の中心という立地条件から大型店や中小の店舗が立ち並ぶ商業集積を誇る「産業のまち」です。また、中標津空港を有しており、ひがし北海道の空の玄関口として広域的拠点の役割を担っております。

空港へ向かう飛行機が着陸態勢に入るころ、左手に森に囲まれた阿寒湖、盆地にたたずむ屈斜路湖、カムイヌプリに寄り添う摩周湖を順に眺めることができ、さらに高度が下がると、広がる緑の中に、かつて100年の大計を案じた先人たちの壮大な構想が財産として残された巨大な格子状防風林があり、広大な台地を巡る緑の回廊を眼下に眺望することができます。

空港の周りには、牧場を割って延びる長い直線道路「ミルクロード」やひがし北海道の景勝地の一つである「開陽台」があります。標高270mの台地「開陽台」から望む330度のパノラマは地球の丸さを実感でき、とても人気です。

また、空港を拠点として、納沙布岬、野付半島、知床など管内の観光地を巡ることもでき、夏にはキャンプ、秋はサーモンフィッシング、冬は流氷観光など季節に応じたひがし北海道の旅が堪能できます。

～中標津への移住計画～
「観光地」としての北海道は見どころ満載ですが、実は生活の場としても魅力的で素敵なところです。

中標津町は、知床や網走、摩周や阿寒などの有名観光地に囲まれており、空港を有しているので首都圏や札幌にも気軽に行け、ひがし北海道の中枢都市としての機能も充実している『暮らす』ための街です。

商業施設や中小企業なども多く、買い物にも大変便利で、地元で愛されるおいしい飲食店が多いのも魅力のひとつです。

気が向いたときには有名観光地まで日帰りでいくことができ、我が家では家庭菜園を楽しみながら近所の温泉へ行くなど、スローライフを望む方には、まさにぴったりな町となっております。

ひがし北海道の大自然を背景に中標津町で暮らしてみませんか。

詳しくはhttps://kaiyoudai.jp（(一社)なかしべつ観光協会ホームページ）をご覧ください。

［イベント］
標津岳山開き　６月第１日曜日
武佐岳山開き　６月第２日曜日
なかしべつ夏祭り　８月第２土・日曜日
じゃがいも伯爵まつり＆
　ふれあい広場　９月上旬
なかしべつ冬まつり　２月第１土・日曜日

特産品
●なかしべつ牛乳
●のむヨーグルト
●中標津ゴーダチーズ
●クリームチーズ
●チーズブルトンヌ
●じゃがいも（伯爵など）
●フライシュケーゼ
●標津羊羹　　など